

# 第2弾『ラテンアメリカ野球から学ぶ、選手指導・育成研修会』

2018年2月27日(火) 19:00～21:00 @北海道旭川市 旭川市民文化会館

☆人口1000万人の小国から、  
毎年多数のメジャーリーガーを輩出

カリブ海に浮かぶドミニカ共和国出身の多くの選手たちが、メジャーリーグや日本のプロ野球で活躍しています。2017年3月のセミナーでは、彼らが実践している育成システム、技術向上に関する彼らの考え方について、お話しする機会をいただきました。

今回は指導編として、指導者としてどのように選手の能力を引き出していか、どのような練習を行うべきかを、彼らの練習方法を参考にしながら、学んでいく機会とできればと思っています。



- ①選手の能力を最大限引き出すために、指導者と選手の関係性・距離感・信頼関係を築く方法。
- ②長期的な成長を見据えて行うべき練習方法、行うべきではない練習方法。
- ③選手の能力を最大限引き出すための環境整備。
- ④日本では野球をプレーする子供たちが激減！底辺拡大に向けた取り組み紹介！

毎年、多くの有望選手を輩出し、2013年WBCでも優勝を飾ったドミニカ共和国の野球から、本物の選手指導・育成方法にぜひ触れてみてください。

野球指導者の方、保護者の方、将来指導者になりたいとお考えの方、野球やスポーツ・教育に興味のある方、どなたにも興味を持っていただける内容です。

閉塞感漂う日本の未来を変えるのは、今このパンフレットをお持ちのみなさんです！

## 【参加方法】

氏名・勤務先・メールアドレス・電話番号をご記入の上、下記アドレスまでメール送信願います。

主催：プロスペクト株式会社 協賛：NPO法人BBフューチャー、 ONYONE

Mail [info@bb-future.net](mailto:info@bb-future.net) (担当：土井) お問い合わせ先 TEL 072-277-3393

**※件名に『2月27日旭川会場参加希望』とご記載ください。**

定員になり次第受付を終了しますので、可能な限り事前にご予約下さい。

## 【参加費用】

3,000円/人 (2月21日までに申し込み頂いた方)

3,500円/人 (2月22日以降前日までに申し込みの方)

※お支払方法は別途ご連絡いたします

(当日参加は4,000円)

## 【ナビゲーター紹介】

阪長 友仁(さかなが ともひと)

大阪府出身 新潟明訓高校、立教大学卒

- ・スリランカ野球ナショナルチームコーチ (2006年)
- ・タイナショナルチームコーチ (2006年)
- ・ガーナナショナルチーム監督 (2007年)
- ・青年海外協力隊 野球隊員 コロンビア (2008～2010年)
- ・JICA企画調査員 グアテマラ (2011～2014年)
- ・NPO法人BBフューチャー、プロスペクト株式会社職員 (2014年～)

ドミニカ共和国野球指導法調査・研究、国内チーム・プロ野球選手サポート業務などを実施



# 研修会参加者の声

## (福岡県 第13回筑紫区中学校野球部指導講習会の例)

- ・2015年2月7日 14:00～16:30 @福岡県筑紫野市立二日市中学校
- ・参加者:約50名 (公立中学校野球部顧問が中心)
- ・テーマ:世界の野球を通じて学ぶ『これからの日本野球』
- ・アンケート回収数:43
- ・研修会について:非常に良かった40名、良かった3名

### ・感想例

『ただただビックリした!話を聞くことができて良かった!』(55歳、指導歴20年)

『世界基準で野球を考えたことがなかったので、大変参考になった!』  
(43歳、指導歴12年)

『野球指導に対する考え方が180度変わった!』(30歳、指導歴1年)

『選手との信頼関係のつくり方の根本を考え直していこうと思った!』  
(37歳、指導歴10年)

『これまで良かれと思ってやっていたことで、逆に子どもたちの成長の芽を摘んでしまっていたことに気付かされた!』  
(49歳、指導歴19年)

『これからは目先の勝利よりも、子どもたちの能力を最大限引き出せるような練習方法を考えていきたいと思った!』  
(40歳、指導歴16年)

『野球指導者としてだけでなく、教員としても非常に勉強になった!』  
(40歳、指導歴17年)、(28歳、指導歴1年)

『メジャーリーガーを多く輩出しているドミニカ共和国の選手育成方法が日本の指導方法と根本的に違うことに驚いた!』  
(27歳、指導歴3年)



## ・2015年12月 ドミニカウインターリーグに参加した筒香選手のコメント

『ドミニカではものすごく荒れた草むらで、子どもたちが思いっきりバットを振り回し、何事もなかったようにゴロを捕って野球をしていました。彼らは全く失敗を恐れていないし、指導者は子どもたちがどんどんチャレンジできる環境を用意していることがすごく印象的でした。少しでも多くの日本の指導者の方が、ドミニカの野球に触れる機会を得て、日本の子どもたちの能力をさらに伸ばすことに成功し、将来大きな舞台で活躍できる選手を育てていただけたらうれしく思います。』

### ※写真

(左)ドミニカウインターリーグ参加時の筒香選手と現地でコーディネーター兼通訳を務めた阪長  
(右)試合前の球場で子供たちと

